

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	24221004	研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
研究課題名	環境汚染物質による性未成熟のインプリンティングと育児破綻の分子機構	研究代表者 (所属・職) (平成27年3月現在)	山田 英之（九州大学・大学院薬学研究院・教授）

【平成 27 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（意見等）

本研究では、ダイオキシン（TCDD）が胎児の黄体ホルモン（LH）を一過的に低下させる機構及び LH の一過的低下が成熟後の児の性行動等に及ぼす影響について、メカニズムに基づき解明しようとしており、その成果は概ね順調である。特に、LH の低下を起こした児が交尾不全を起こす原因が、性腺刺激ホルモン放出ホルモン（GnRH）の継続的な発現低下にあるとする知見は興味深い。TCDD 以外の環境汚染物質が同様の作用を示すのか、また、TCDD が母ラットの育児能力を低下させるメカニズムの解明などは社会的にも重要な課題であり、今後の研究の進展が期待される。